

病院の概要

開設	昭和 60 年 2 月
開設者	公益財団法人筑波メディカルセンター
院長名	軸屋 智昭
病床数	453 床
標榜科 (22 科)	内科、外科、小児科、整形外科、循環器内科、心臓血管外科、脳神経外科、脳神経内科、呼吸器内科、呼吸器外科、消化器内科、消化器外科、乳腺外科、泌尿器科、婦人科、リハビリテーション科、麻酔科、放射線科、病理診断科、放射線治療科、救急科、緩和ケア科
医師数	131 人 (常勤)
指導医数	50 人 (7 年目以上 : 81 人)
研修医数	25 人 (基幹型 17 人、協力型 8 人)
研修医の主な 出身大学	福島県立医科大学、秋田大学、筑波大学、弘前大学、山形大学、新潟大学、山口大学、三重大学、日本大学、北里大学、徳島大学 他
外来患者数	485 人/日
入院患者数	374 人/日



応募資格	平成 31 年 3 月国家試験合格見込者もしくは、医師臨床研修マッチングに参加資格を有する者
採用人数	10 人
試験日程	平成 30 年 8 月・9 月 (予定)
選考方法	グループディスカッション・面接
処遇	●身分：正職員 (臨床研修科) ●給与：1 年次 基本 30 万/賞与あり 2 年次 基本 36 万/賞与あり ●社会保険：有り ●宿舎：有り (単身用)
見学	随時受付 (土日祝日・12/29 ~ 1/3 除)

病院の理念

地域社会と連携・協働し、患者中心の医療を実践します

臨床研修の理念

いかなる状況でも目の前の患者さんと真摯に向き合える医師を養成する。

院長からのメッセージ 軸屋 智昭 病院長



当院は茨城県、茨城県医師会、市郡医師会、筑波大学が連携協力し設立した財団法人筑波メディカルセンターを母体とし 1985 年に開院しました。地域医療支援病院、救命救急センター、茨城県地域がんセンター (地域がん診療連携拠点病院)、災害拠点病院、地域リハ広域支援センターなどのさまざまな機能を有しています。地域医療支援病院として、地域の医療機関との連携の中で“救急とがん”の高度急性期から急性期医療を担当し、地域完結型の医療を目指しています (紹介 11,000 名、逆紹介 16,000 名/年)。

年間 4 万人の救急患者と 5,000 台超の救急車が訪れる救急外来は、院内トリアージを基礎に、救急診療科と総合診療科が中心となりドクターヘリ、ドクターカーで運ばれる重症者から walk in の軽症者 (初期救急) までを診療する ER 型 (初期～三次救急の全次型) として運営されています。研修医は、屋根瓦式で配置された上級医と共に多彩な症例と多様な医療を学ぶ機会が得られます。初期臨床研修病院として 100 名 (全国 27 大学出身) の管理型研修医を養成した実績、ドクターカー、PCI、TAVI、脳血管内治療、大動脈ステント、包括的がん医療、地域の緩和医療、死後画像診断 (Aii)、DMAT など、当院の魅力は誌面では語り尽くせません。当院を知って頂くには現場を覗くのが一番です。病院見学会 (随時受付) や春、夏のレジナビへの参加など、まず行動をおこして下さい。

「筑波メディカルセンター病院を見ずに研修病院を決めるのはもったいない・・・!!!」

病院にお越しいただければ、私も含めスタッフ皆で歓迎いたします。

研修責任者コメント 鈴木 将玄 臨床研修部会長



救命救急センターやがんセンターを併設している地域の中核病院です。病院全体で研修医を育てる空気があります。病棟だけでなく、きちんとバックアップ体制のある ER でトコトン鍛えられます。当院の研修の理念に共感してくれる元気な研修医を待っています。まずは見学に来てください。答えは現場にある!

研修医コメント 吉原 雅大



当院の特徴のひとつに、「風通しのよさ」が挙げられます。当院での研修は、病院全体が研修医を育てる、という熱意に満ち溢れているからこそ実現される研修です。医局では診療科や経験年数を超えてデスクが割り振られており、垣根なくコンサルテーションができます。また、入職直後の 1 ヶ月間には、事務部門を含む全部門で研修する機会があり、各部門のメンバーや業務について学びます。職員同士がお互いを理解し協力するという「風通しのよさ」が当院にはあります。さらに、10 名と公私ともに気心知れた同期研修医は常によい刺激を与えてくれます。皆さんも、病院全体から背中を押してもらいつつ、研修医同士で切磋琢磨する日々に参加しませんか。

研修プログラムの特色

救命救急センターとして、主に救急診療科や総合診療科が年間約 40,000 人の救急患者と 5,000 台を超える救急車に対応しています。初期～3 次の救急患者や common disease の診断治療およびその後のマネージメントを通じて地域の医療機関との連携に配慮した医療を理解し、実践することができます。

研修スケジュール例

4 月当初は全体オリエンテーションから開始します。

<平成 28 年度 プログラム例> ◎当院はスーパーローテート方式のため、小児・産婦・精神も必修となります。

1 年次	4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	10 月	11 月	12 月	1 月	2 月	3 月
	内 科						救 急			選 択	外 科	
2 年次	4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	10 月	11 月	12 月	1 月	2 月	3 月
	精 神	地 域	選 択		小 児		選 択		産 科	選 択		

内 科 (必修) 6 ヶ月
救急部門 (必修) 3 ヶ月
地域医療 (必修) 1 ヶ月
精 神 科 (必修) 1 ヶ月
産婦人科 (必修) 2 ヶ月
小 児 科 (必修) 2 ヶ月

入院患者の検査・治療を中心に臨床医として必要な基本的スキルを習得する。
主な救急疾患の病態を理解し、救急現場で最も適切な処置を迅速・確実に実施するための必要な基本的スキルを習得する。
協力的施設である複数の診療所で地域医療の現場を体験する。

外 科 (必修) 2 ヶ月
選 択 7 ヶ月

協力病院での研修。
協力病院での研修。
外来診療および入院患者の検査・治療を通し、診察方法、基本的臨床検査の選択と評価、治療手技、薬用量、小児保健などを習得。
基本的診察法と臨床検査の選択と評価、手術適応の決定、手術手技、基本的な治療法などを研修。
院内及び協力病院での自由選択研修

専門研修の募集について

「救急科専門研修プログラム」
「救急現場から社会復帰までストーリーの完結を目指す救急科専門医」を育成します。
「つくば家庭医・病院総合医プログラム（筑波メディカルセンター病院）」
「ひとびとの健康を支えるオールラウンダー」を目指します。

募集診療科	選考方法
救急科・総合診療	面接

研修・認定施設一覧

- ・日本内科学会認定医教育関連病院
- ・日本外科学会外科専門医制度修練施設
- ・日本救急医学会指導医指定施設
- ・日本救急医学会救急科専門医指定施設
- ・日本外傷学会外傷専門医研修施設
- ・日本航空医療学会認定指定施設
- ・日本臨床腫瘍学会認定研修施設
- ・日本がん治療認定医機構認定研修施設
- ・日本緩和医療学会認定研修施設
- ・日本医学放射線学会放射線科専門医修練機関
- ・日本核医学会専門医教育病院
- ・日本麻酔科学会麻酔科認定病院
- ・日本アレルギー学会認定教育施設（呼吸器内科・小児科）
- ・日本小児科学会小児科専門医研修施設
- ・日本脳神経外科学会専門医研修施設
- ・日本脳卒中学会認定研修教育病院
- ・日本神経学会専門医進修教育施設
- ・日本循環器学会認定循環器専門医研修施設
- ・日本心血管インターベンション治療学会研修施設
- ・日本不整脈学会・日本心電学会認定不整脈専門医研修施設
- ・三学会構成心臓血管外科専門医認定機構基幹施設
- ・関連 11 学会構成ステントグラフト実施基準管理委員会腹部・胸部大動脈瘤ステントグラフト実施施設
- ・日本呼吸器学会認定施設
- ・呼吸器外科専門医合同委員会呼吸器外科専門医基幹施設
- ・日本呼吸器内視鏡学会専門医認定施設
- ・日本乳癌学会認定医・専門医認定施設
- ・マンモグラフィ検診精度管理中央委員会マンモグラフィ（乳房エックス線写真）検診施設
- ・日本乳房オンコプラスティックサージャリー学会エキスパンダー実施施設（一次再建）・インプラント実施施設（一次二期再建）
- ・日本消化器病学会専門医認定施設
- ・日本消化器内視鏡学会専門医指導施設
- ・日本消化器外科学会専門医修練施設
- ・日本大腸肛門病学会認定施設
- ・日本消化管学会胃腸科指導施設
- ・日本泌尿器科学会泌尿器科専門医教育施設基幹教育施設
- ・日本婦人科腫瘍学会専門医制度指定修練施設
- ・日本整形外科学会専門医研修施設
- ・日本リハビリテーション医学会研修施設
- ・日本手外科学会手外科専門医関連研修施設
- ・日本超音波医学会認定超音波専門医研修施設
- ・日本病理学会病理専門医研修認定施設 B
- ・日本臨床検査医学会臨床検査専門医認定研修施設
- ・日本臨床細胞学会教育研修施設
- ・日本臨床細胞学会施設認定
- ・日本感染症学会連携研修施設
- ・日本環境感染学会認定教育施設
- ・日本静脈経腸栄養学会 NST（栄養サポートチーム）稼働施設
- ・日本栄養療法推進協議会 NST（栄養サポートチーム）稼働施設
- ・日本脈管学会認定研修関連施設

アクセス



女性医師支援コーナー

筑波メディカルセンター病院では、女性が働きやすい環境を第一に考え、産休、育児休暇、育児短時間勤務、当直免除等の制度を整備しています。また、保育園・病児保育室も完備し、育児しながら働く場の提供を行っています。

応募問合せ先 筑波メディカルセンター病院

〒305-8558 つくば市天久保 1-3-1

担当者：総務部 人事課 木村 照子

TEL：029-851-3511（代）

FAX：029-858-2773

E-mail：kensyu@tmch.or.jp

URL：http://www.tmch.or.jp/hosp/index.html

病院見学対応状況

★見学時間…随時（平日） ★対象…全学年 ★宿泊…近隣の宿泊施設を紹介

★問い合わせ先…担当者：人事課 木村 TEL：029-851-3511 E-mail：kensyu@tmch.or.jp